

太陽光発電とIT技術を組み合わせた 満足度の高い家、「スマートハウス」



リビングのソファにてくつろがれるO様ご一家。広い庭に家庭菜園をつくって野菜づくりに挑戦したいとおっしゃるご主人



O様邸は、太陽光発電と家庭内エネルギー管理システム(HEMS・へムス)を組み合わせた家で、「スマートハウス」と呼ばれています



ご主人がお気に入りのリビング。テレビの後方の壁にはエコカラットが貼られ、ヒートポンプ式の床暖房システムが取り付けられています



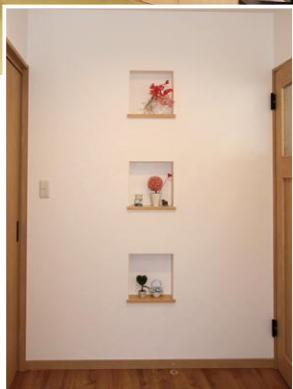
半帖タタミを敷いた和室。腰板には、広島県産ヒノキの集成板が使われています



息子の良河(りょうが)君



ご主人が自ら制作された庭の敷石コーナー



ニッチには奥様の好きな花やインテリア小物が飾られています

国の補助金も出る 最新の省エネ住宅

車やバイクが趣味のO様の夢は、広い庭にガレージを建て、整備や修理を自由にやってみたい、というものでした。そのため90坪という広めの土地を時間をかけて探されたのです。

ところが、「住宅だけで予算がいっぱいになり、ガレージの夢は実現しませんでした」と苦笑い。でも、その表情はどこか晴れやかで、満足できる家を建てた達成感のようなものが感じられます。

O様が建てられたのは「スマートハウス」と呼ばれる、太陽光発電と最新のIT技術を駆使した省エネ住宅。しかも、「地域型ブランド化事業住宅」という国土交通省の支援制度の適用条件を満たした家で、補助金(百万円)も交付されます。満足度が高いのは当然といえるでしょう。大坪建設では公的な補助制度を利用されるお客様にも全面的なバックアップ体制で臨んでいます。

顧客の要望にも柔軟に 対応できる住宅会社

家のデザインについては、「北歐風のイメージ」という希望がありました。太陽光発電も最初から予定しており、打ち合わせを重ねて、現在のカタチになったのです。大坪さんは、融通の利く住宅会社

で、「ご自身の要望にも柔軟に対応していただきました」と。

O様の場合、デザインのイメージを自分で絵に描かれ、「こんな感じで…」と提示されたそうです。イメージ画を描かれるほどですから、機用な人で、庭の一角に砂場や敷石コーナーをつくったりをしたりして楽しまれています。

子供が家の中で のびのびと遊んでいます

住み心地については、「いいですね。これまでアパートの2階でしたから、男の子が飛び跳ねると、いつも注意していました。その必要がなくなったのが一番です。それに、子供も家の中のびのびと遊ぶようになった」と。

O様自身も家を建てて、「これまで以上に責任感を持つようになり、この家で家族を守っていくんだ、という思いが強くなりました」と。O様にとっては、この家が城であり、港です。お気に入りの場所のリビングでくつろげば、リフレッシュして仕事の疲れも吹き飛ばすでしょう。

奥様も家のできばえには満足のように、奥様の希望でつくられた飾り棚には、花や小物がところ狭しと飾られています。まもなく2人めの子供さんが誕生されるとか。あと数年もすれば、元気な子供さんたちが庭を走り回っている姿が見られることでしょう。